

# 株式会社富士通交通・道路データサービス

事業名: スマホとドラレコを活用した舗装点検の効率化と白線検知

Q. 実証事業に応募したきっかけを教えてください。

「クリ“ミエ”イティブ実証サポート事業」のホームページを拝見し、弊社の取り組みが三重県様の道路維持管理効率化と県民および観光客への安心で安全な道路インフラの提供に貢献できるのではないかと考えました。

Q. 三重県で実証して良かった点を教えてください。

三重県県土整備部道路管理課様、鈴鹿建設事務所様、雇用経済部創業支援・ICT推進課様のご協力・支援を受け、順調かつ効率的に実証を行うことが出来ました。コロナ禍のため、導入説明会、現地報告会とも全てリモートで実施させていただきました。(弊社としても初めての試みです) 予定どおり進められたのは、皆さまのご協力があったからこそと考えております。

Q. 本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

鈴鹿建設事務所様のご協力により、実際の道路巡回業務の中で、スマートフォンとドライブレコーダーを巡回車に搭載いただき、データ収集をお願いしました。その中で、巡回日誌の作成や路面性状の簡易調査を行っていただきました。また、ドライブレコーダーの動画から白線検知を行う実証も実施しています。路面性状の簡易調査は、スマートフォンの振動だけで判定するものですが、事務所の方からは従来の調査結果と概ね一致しているとの評価をいただきました。白線検知についても、予想以上に高い検出結果が得られ、実用性の検証と課題の明確化を行うことが出来ました。

Q. 今後、この実証事業を三重県または全国でどのように展開していくのか教えてください。

スマートフォンによる巡回日誌作成と簡易路面性状調査は、鈴鹿建設事務所様のご意見を取り入れながら、他の事務所様での活用もご検討いただきたいと考えております。白線検知については、実用性をさらに検証しながら、他の自治体・国道事務所のご意見をうかがって、製品としての実装を検討したいと考えております。



<三重県担当職員からひと言>

行政がより安心・安全な道路を提供していくうえで、維持管理業務の負担が減ることはありません。今回の取組が無事に形となって、現場の負担が減り、持続可能な地域社会の形成に大きく貢献されることを期待しています。

(創業支援・ICT推進課 奥村さん)

<実証事業の様子>

